

漁海況情報第3報 (2009年6月4日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0138

本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

142°E～142°30'E 付近 (100m 深水温) で冷水の影響が見られ、その他海域は平年並み

本県沿岸海域 (142°30'E 以西) の表面水温は、概ね前月と変わらず 11～17 台で、平年並みとなりました。また、沖合海域 (142°30'E 以东) の表面水温は、前月とほぼ変わらず 16～17 台で、平年より約 1 高くなりました。

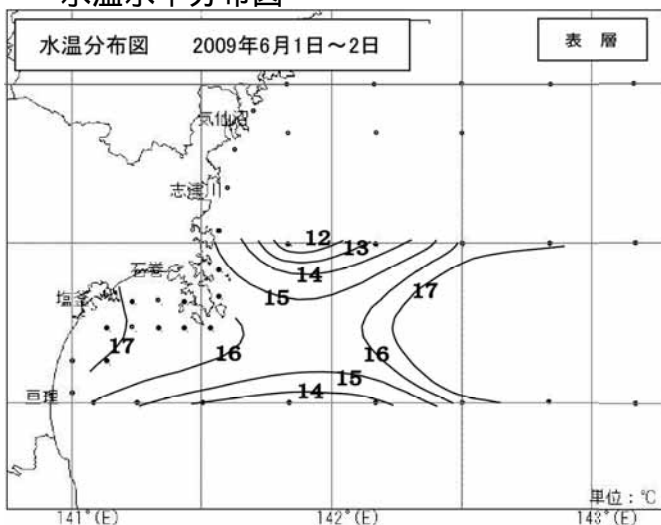
100m 深水温については、142°E～142°30'E で前月より概ね 3～5 降温して、5～8 台となり、平年より 1～2 低く、平年に比べやや低い～低いとなりました。その他海域ではほぼ平年並みとなりました。[P1.水温水平分布図][P1.水温平年偏差図]

水温鉛直断面図をみると、雄勝沖合ライン 142°E～142°50'E 及び巨理沖合ライン 142°E～142°50'E の水深 300m 付近で、4 以下の冷水が見られました。[P2.水温鉛直断面図]

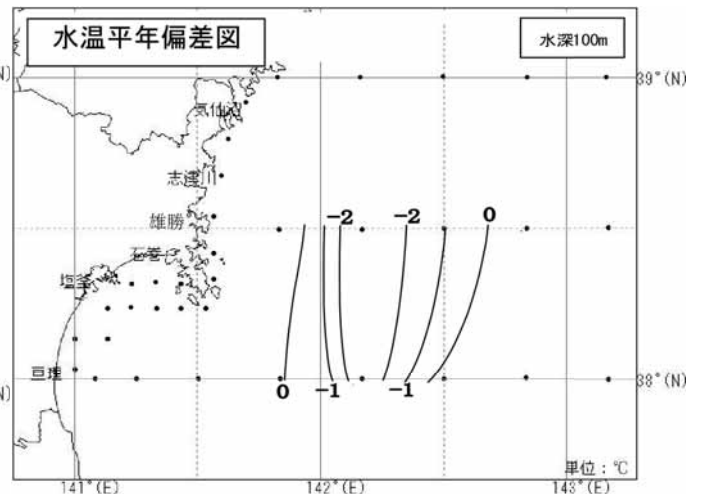
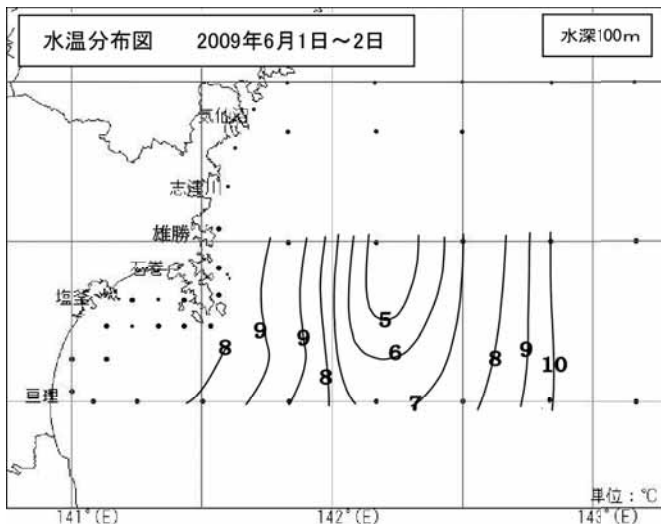
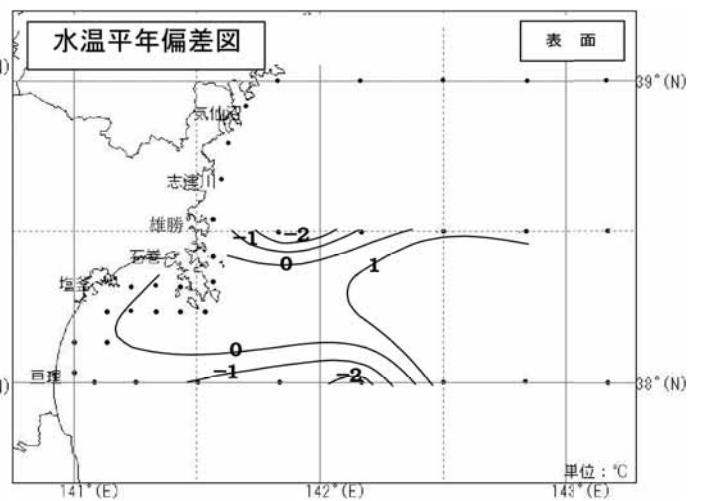
東北海域の表面水温の分布について、本県 142°E 付近まで 15 台の暖水が波及していますが、沿岸よりに冷水の差し込みが見られます。[P2.東北海域の海況図：(社)漁業情報サービスセンター]

なお、5月下旬の定地水温は、歌津・田代島で平年並み、江島はやや高めでした。[P2.定地海洋観測結果]

・水温水平分布図



・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

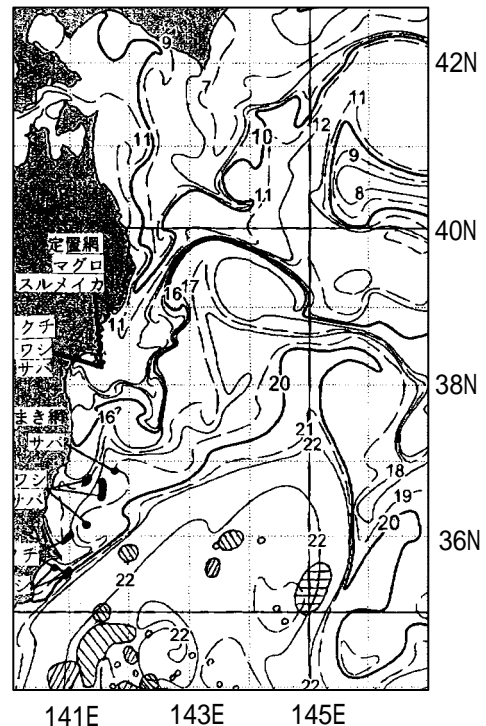
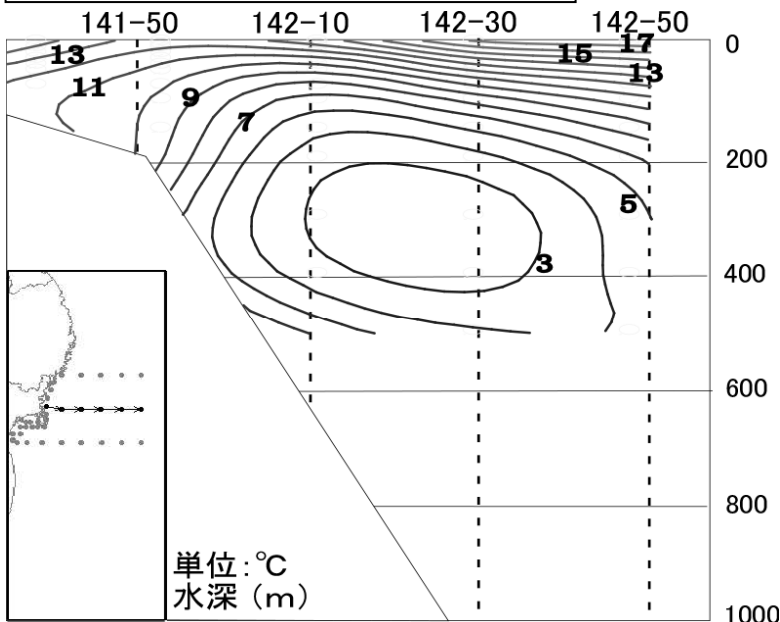


海洋観測は拓洋丸と開洋が実施しました。

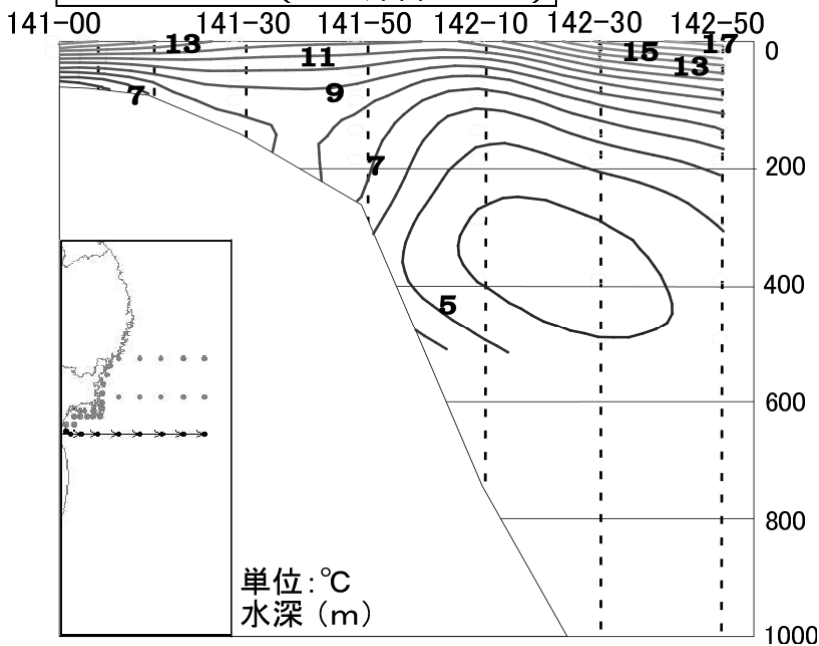
・水温鉛直断面図

・2009年6月1日の東北海域の海況(表面水温)
(社)漁業情報サービスセンター

38°30' Nライン(雄勝沖合ライン)



38° Nライン(巨理沖合ライン)



特記事項 (社)漁業情報サービスセンター

- ・鹿島灘～金華山沿岸は11～18台。
- ・金華山以北の沿岸は9～12台。
- ・津軽暖流は11～12台。
- ・近海では、10の南端は39°15'N・142°05'E、15の北端は39°50'N・143°25'E、20の北端は38°30'N・144°45'E。
- ・前年比は沿岸沖合ともに海域差が激しいが、並～高め。
- ・塩屋崎沖～黒崎沖に15～22の暖水が北上。
- ・浪江沖～黒崎沖(14～16)、野島崎沖～塩屋崎沖(20～22)等に潮境が分布。六ヶ所沖(146～148°E)の暖水域(11台)は渦状の分布を維持。

・定地海洋観測結果()

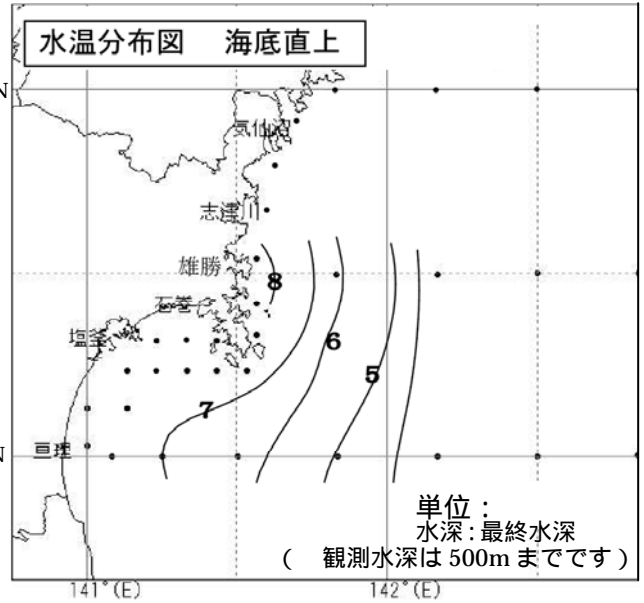
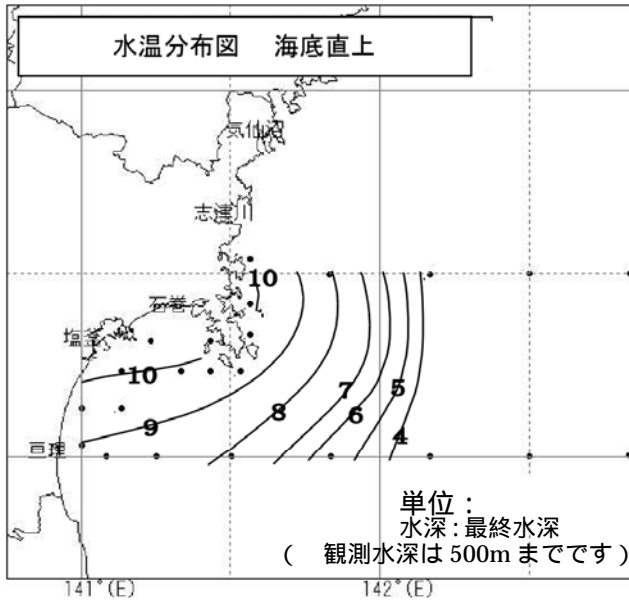
	5月下旬(平年比)	平年差	前年差
歌津	12.5(平年並み)	+0.4	+1.6
江島	12.5(やや高い)	+0.9	+2.0
田代島	14.2(平年並み)	-0.2	+0.6

平年差は、江島、田代島：過去30年間、歌津：過去10年間との比較。
毎日の定地水温情報は当センターホームページでも見られます。
(<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>)

2. 底層水温図

・海底直上水温(2009年6月1日~2日)

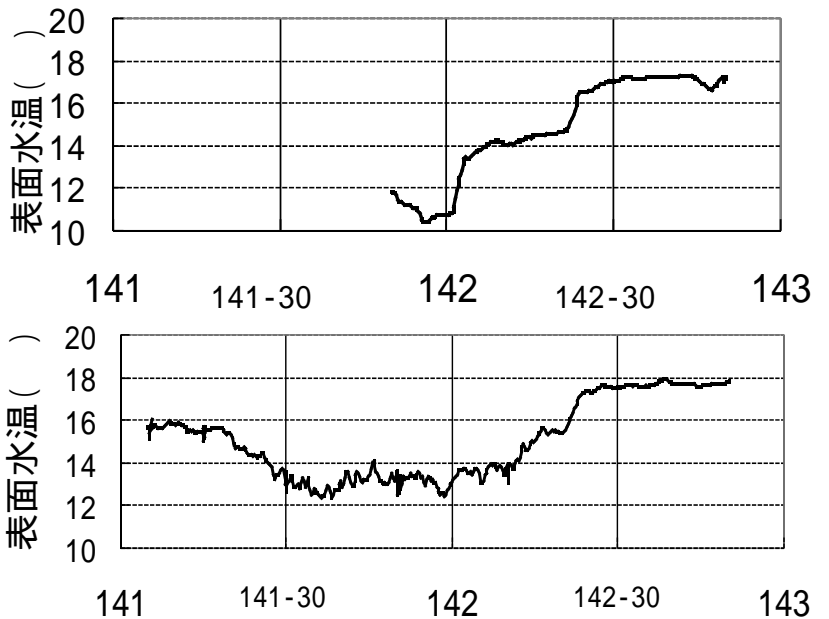
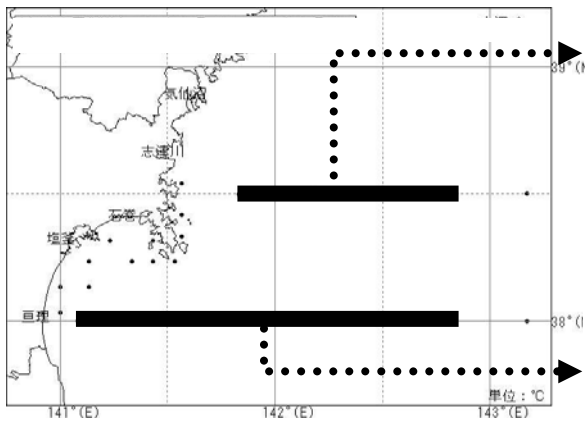
・昨年同期の海底直上水温(2008年6月2日~10日)



海底直上水温について、仙台湾周辺海域で昨年同期と比べ2~3 高くなっています。

3. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。



4. 漁況

主要魚種の県内10魚市場の水揚量。(集計期間:2009年5月1日~5月31日, 単位:t)

魚種	沖底	小底	刺網	巻網	定置網	敷網・抄網	ランプ網	延縄	大目流網	その他	総計	前年比(%)
コウナゴ	0	3	0	0	0	3	386	0	0	0	392	6
メロウド	0	0	0	0	21	28	0	0	0	0	50	63
マイワシ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
カタクチイワシ	0	0	0	0	2,219	0	0	0	0	9	2,228	107
スケトウダラ	389	351	0	0	0	0	0	0	0	150	890	45
マダラ	212	316	1	0	1	0	0	0	0	152	682	86
カツオ	0	0	0	907	0	0	0	0	4	12	923	91
サバ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
クロマグロ	0	0	0	0	11	0	0	2	15	13	41	75
サワラ	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	31	22
スルメイカ	233	137	0	0	64	0	0	0	0	3	437	3,973

宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

今漁期のコウナゴ水揚げ結果について

平成 21 年 5 月 25 日に本県の火光利用敷網漁業によるコウナゴ漁が終了しましたので、その概要をお知らせします。

1 水揚げ状況

平成 21 年 5 月 25 日までの宮城県主要港に水揚げされたコウナゴの水揚げ実績は、数量で 1,557 トン（前年比 20%）と昨年度を大幅に下回る結果となりました。（表 1）

2 漁期中の漁海況

本県漁業調査指導船「拓洋丸」「開洋」によるコウナゴ漁期前の調査では、昨年と比べてコウナゴの採集数は少ない結果となっており、また、4 月中旬～5 月上旬にかけて行った科学計量魚探及び中層トロール調査でも、コウナゴの魚群は仙台港沖から山元町沖のみにしか確認されず、漁場は仙台湾内の限られた範囲にしか形成されませんでした。

今漁期の海況を見ますと、2～3 月までの仙台湾内の水温は概ね平年並みで推移しましたが、4 月中旬以降は暖水が影響により、仙台湾内の水温が高めに推移しており、このことがコウナゴの漁場形成に関与したものとされます。

表 1 コウナゴ漁獲量 単位:トン

西暦	平成	3月	4月	5月	計
2000	12年		1,772	7,576	9,348
2001	13年		2,944	6,587	9,531
2002	14年	84	977	536	1,597
2003	15年	67	2,026	2,946	5,039
2004	16年	44	1,595	2,698	4,337
2005	17年	3	993	5,130	6,126
2006	18年		1,265	2,499	3,764
2007	19年	5	319	29	353
2008	20年	84	1,052	6,744	7,880
2009	21年	115	1,056	386	1,557

宮城県総合水産行政情報システムによる集計

5 . 調査船運航計画

拓 洋 丸	
6 月 10 日 ~ 11 日	イカ類一斉調査
6 月 15 日 ~ 16 日	イカ類一斉調査
6 月 22 日 ~ 24 日	タラ類新規加入量調査

開 洋	
6 月 10 日	マアナゴレプト調査
6 月 16 日	仙台湾定期水質調査